



RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2021. 10. 19



こんにちは。立教大学ボランティアセンターメールマガジン 10月19日号です。

朝晩涼しくなり、だいぶ秋めいてきました。

さて、秋の学校行事といえば、学園祭。団結、胸キュン、チャレンジ等々..、青春の1ページを飾る思い出深いイベントとして記憶に残っている人もいるかもしれませんね。

立教大学では、昨年度、学園祭そのものが中止となりましたが、今年度はオンラインで開催されることになりました。今年のテーマは『DAWN』。コロナ禍で落ち込んだ社会に大学生の力で『夜明け』を灯すという、魅力的なテーマが掲げられています。

池袋キャンパスのセントポールズフェスティバルは、11月1日(月)～3日(水)、新座キャンパスのアイビーフェスタは、11月2日(火)～3日(水)に開催予定です。

今年の学園祭を、いつものリラックス空間から楽しむという秋のひと時も素敵ですね。



CONTENTS

- (1) ボランティアセンターからのお知らせ
- (2) コロナ禍の工夫 ～学生サークル編～
- (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

(1) ボランティアセンターからのお知らせ

【今後のボランティア活動について】

9月30日に「緊急事態宣言」が解除されたことに伴い、本学では対面でのボランティア活動を行う上での注意点が以下の通り改定されました。

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/activities/SitePages/covid19.aspx>

10月18日(月)より、本学の活動制限が「レベル1」へと引き下げられ、キャンパスでの対面を前提とする授業を再開されたことに伴い、課外活動も、感染拡大に最大限の配慮をすることを条件に、対面による活動が認められるようになり、ボランティア募集情報の紹介も再開します。

また、学生ボランティア団体のみなさんは、課外活動制限レベル2から1に緩和されることにより、【事前相談】は引き続き必要ですが、【事前事後に連絡先・行動履歴の提出】は、不要となります。

なお、ボランティア活動を行う際の注意点については変わりませんので、レベル2の時と

同様に、学生部の『課外活動マニュアル』を遵守してください。

対面によるボランティア情報を待っていた皆さん、まずは、ぜひボランティアコーディネーターにご相談ください。開室時間や勤務状況により多少のお時間をいただくことがありますので、相談を希望される場合は、事前にメールにて相談希望日や相談内容をお知らせいただくと、スムーズです。ご協力をお願いします。

✉ volunteer@rikkyo.ac.jp (zoom 面談可)

<窓口開室時間>

池袋、新座キャンパスともに、以下のスケジュールで窓口対応いたします。

月～金 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:30 (新座キャンパスは土曜日原則閉室)

※日、祝日および授業休講日は閉室

※休日授業日は、月～金、土の各曜日通りに開室

※その他の詳細については、こちらをご覧ください。

<10月4日以降のボランティアセンターの利用上の注意について>

https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/_layouts/15/Vc5.Spirit.PortalV2/Post.aspx?ID=00051600

【学生サポーター企画 Online ボラカフェのお知らせ】

2021年度から、ボランティアセンターでは、学生サポーター制度を導入し、池袋・新座キャンパス合わせて現在7名の学生と一緒に活動をしています。

この秋、その学生サポーターによる、初めての企画が開催されます！誰かと話したい、伝えたいという想い、モヤモヤ感を共有したいという、コロナ禍の学生の想いが反映された学生による学生目線の内容となっています。第一弾は10/26(火)、第二弾は11/5(金)のいずれも昼休みの開催です。詳細・申し込み方法は、既に立教時間やSNS、ポスターなどで紹介していますので、興味のある方は、ぜひご応募ください！なお、第二弾も近日中に公開します♪

ボランティアセンター×学生サポーター企画 Online Volu-Cafe

『あなたのモヤモヤ、シェアしませんか？～あなたの声を聞かせてください』

日程：10月26日(火) 12時35分～13時20分

オンラインで開催

(参加申し込み者には、前日までにzoomのURLを送ります)

募集人数：10人(先着順) 1,2年生対象

申し込み方法：下記のGoogleフォームにて受け付け。

<https://forms.gle/5BvzmVaeofe5r7W79>

締め切り：10/22(金) 正午



【ボランティア・プレサミット開催報告】

10/6（水）の昼休みに、2021年度第1回ボランティア・プレサミットを開催しました！

各ボランティアサークルから参加したボランティアサークルの学生が順番に現状報告し、みんなで各サークルの状況を知って考えていただくきっかけとして、例年よりも少し早い時期に設けました。（次回のボランティア・プレサミットは11月開催予定）

事前のアンケート結果を含めて、「部員のモチベーションの維持が難しい。」「ミーティングに人が集まらない。」「引き継ぎができない。」など、モチベーションの維持、引き継ぎに関する意見がたくさん出ており、存続のために頑張っている幹部学生のみなさんの苦勞が伝わってきました。

そんな状況の中でも、オンラインや非対面の活動を工夫して行っているサークルの例もあり、このプレサミットをきっかけに情報交換や協力を行ったサークルも出てきました。長引く制限の中で、なかなか本来の活動に取り組むことができず、大変で、苦勞も多いと思います。でも、通常の活動ができるように戻っていけば、また必ずつながっていける日が来ますし、そうなれば、安心と自信も生まれます。今が踏ん張り時だと思って「今できること」に全集中していきましょう。

そして、その際には、みなさんのOB・OG、学生部、ボランティアセンターなど、周りの人たちに力を借りながら進むということも意識してください。私たちスタッフも、他団体や他大学の取り組みについて、常に情報収集をしていますので、一緒に考えていきましょう！

【バリアフリー映画上映会に向けての活動報告】

春学期に行ったワークショップでは、「バリアフリー映画上映会」とは何か？ コロナ禍の「バリア」って何だろう？…などについて話し合い、その後、上映会のコアメンバーを募集しました。そして7月、正式にコアメンバーとなった17名と、夏休み中に、今年度の上映会のコンセプト等を決めて、秋学期以降は、週に1度昼休みに、ミーティングを重ねています。

「誰のための映画会で、何のためにやるのか」、対象者や内容について、各自が意見を出し合いながら、全体として意見がまとまるまで協議して進めています。

コロナ禍、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、上映会を実施する意義や、バリアについて、メッセージを発信していきたいと考えています。上映作品や同時開催のイベントについては、近日中にお知らせする予定ですので、どうぞ楽しみに！

（2）コロナ禍の工夫 ～学生サークル編～

コロナ禍でこれまで通りの活動ができずに悩みながらも、「このまま何もしなければ、繋がりが失われてしまう」と思い、みんなで考え工夫しながら、「自分たちにできること」を実行しているサークルがあります。

この度、立教大学校友会が発行している「セントポール」（校友会報）にボランティアサークルの子どもクラブ Bambino と立教 YMCA が掲載されました！



子どもクラブ Bambino (子ども・教育系サークル)

新座キャンパス近くの小学校の学童施設で、子どもたちと遊んだり、宿題手伝ったりしていましたが、コロナ禍で直接子どもたちとは会えなくなりました。そこで、部員各自がおもちゃ手作りして、学童に届ける活動を続けています。

例えば、的あてやベースボールゲームなど、トイレットペーパーの芯や、ペットボトルなど、家庭にある身近なものを使って、オリジナルのおもちゃを一つひとつ心を込めて作っています。

学童からは『また作ってほしい』という声もあり、子どもたちが喜んでる姿を想像して、やりがいを感じて活動しています。

立教 YMCA (総合ボランティア系サークル)

池袋キャンパスのある豊島区で、ひとり親の家庭対象の学習支援事業を行ってきましたが、コロナ禍により一時は活動への協力が難しくなりました。しかし、その活動の必要性から、大学に条件付きで対面活動の許可を得て、週に2回ほど学習支援を続けてきました。

コロナ禍での活動ということで葛藤しながらも、子どもたちの楽しそうな姿やひたむきに勉強に取り組む姿を見てきた経験から、子どもたち同士の交流や勉強の場を奪わないようにと考え、活動を続けています。

活動に関わる学生は、これからも、学外との繋がりがあるという自覚を持ち、社会的責任を果たしながら、できるかぎりの活動を続けていきたいと語っていました。

立教エコキャップ推進委員会 REPC (環境系サークル)

エコキャップを回収していましたが、コロナ禍で難しくなり、同じ環境分野で、感染リスクを伴わない活動を新たに考え頑張っています。

例えば、コンタクトレンズの空ケース回収し、そういった活動を行っている企業に協力して、企業からは感謝状も届きました。古着を集めて寄付も行っています。集まった古着(段ボール4箱分ほど)は、リサイクル業者に買い取られ、その収益は、アジアで学校建設や環境保全を行う団体の活動資金になるそうです。その団体のニュースレターでも、このサークルの活動が紹介されることになりました。

～REPCの学生より～

エコキャップ活動に加えて始めた新活動は、他団体や企業との繋がりが深まりサークル内で安定した活動となりました。そこで、今後は回収規模を拡大するべく、12月に予定している回収を始めとして、学内での活動の普及に力を入れていきたいと思っています。

そして、私たちの活動に少しでも関心がある方に賛同・協力して頂ける機会が増えるよう努めていきたいと思っています。



このように、コロナ禍でも工夫をしながら、「今できること」を考え頑張っている姿に、いつも学生のみなさんのボランティア精神を感じています。



*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 rrs@rikkyo.ac.jp

*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo_rrs) https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/

(編集：ボランティアコーディネーター／広瀬)

立教大学ボランティアセンター

◎池袋キャンパス 場所：5号館1階

◎新座キャンパス 場所：7号館2階

◎ホームページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

◎メールアドレス volunteer@rikkyo.ac.jp

◎TwitterID @rikkyo_volucen http://twitter.com/rikkyo_volucen/

◎Instagram https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94JelnJwm7>

(C)2019 RVC all rights reserved.
